



ユーザガイド

3.0.0 | 2019 December | 3725-86738-001A

Poly ビデオモード

ヘルプ情報

Poly/Polycom 製品またはサービスの設置、設定、および管理については、Polycom Support にご連絡ください。

Plantronics, Inc. (Poly — 旧 Plantronics および旧 Polycom)
345 Encinal Street
Santa Cruz, California
95060

© 2020 Plantronics, Inc. All rights reserved. Poly, そのプロペラのデザイン、および Poly ロゴは Plantronics, Inc. の商標です。その他すべての商標は、各社が権利を所有します。

目次

第 1 章 : はじめに	3
対象者、目的、および必須のスキル.....	3
関連する Poly およびパートナーのリソース.....	3
第 2 章 : はじめに	4
Poly ビデオシステムの製品概要.....	4
LED ステータスインジケータ.....	5
G7500 システムの LED ステータスインジケータ.....	5
Studio X50 および Studio X30 システムの LED ステータスインジケータ.....	6
Poly G7500、Studio X50、および Studio X30 ハードウェアの概要.....	7
Poly G7500 のハードウェア.....	7
Poly Studio X50 のハードウェア.....	8
Poly Studio X30 のハードウェア.....	8
Poly Studio X50 と Studio X30 のプライバシーカバー.....	9
システム内の移動.....	9
ホーム画面.....	10
コンテンツ画面.....	11
システム電源のオン/オフ.....	12
システムのスリープモードを解除する.....	12
アクセシビリティ機能.....	13
聴覚障害者向け機能.....	13
視覚障害者向け機能.....	13
身体障害者向け機能.....	14
第 3 章 : 通話の発信	15
通話の発信.....	15
通話の発信.....	15
通話への応答.....	16
着信の無視.....	16
通話の終了.....	16
会議通話の発信.....	16
連絡先への通話.....	17
連絡先への通話の発信.....	17
通話回数の多い連絡先に通話する.....	17
最近の連絡先への通話の発信.....	17
お気に入りの連絡先に通話を発信する.....	18
連絡先をお気に入りに登録する.....	18

連絡先のお気に入りを解除する.....	18
お気に入りの連絡先への通話の発信.....	18
カレンダーからミーティングへの参加.....	18
会議カード.....	18
重複している会議に参加する.....	19
パスワード保護された会議に参加する.....	19
第 4 章 : コンテンツの共有.....	21
コンピュータまたはデバイスからのコンテンツの共有.....	21
Polycom Content App.....	21
Airplay または Miracast の認定デバイスからコンテンツをキャストする...22	
HDMI 接続を使用したコンテンツの共有.....	22
ブラックボードまたはホワイトボードでのコンテンツの共有.....	22
ブラックボードまたはホワイトボードの追加.....	22
コンテンツのスナップショットを撮影する.....	23
スナップショットまたはコンテンツを削除する.....	23
コンテンツセッションを終了する.....	23
ブラックボードコンテンツまたはホワイトボードコンテンツを含む通話を終了する.....	24
第 5 章 : カメラ.....	25
ローカルカメラを調整する.....	25
相手側のカメラを調整する.....	25
カメラをオンまたはオフにする.....	26
カメラトラッキングをオンまたはオフにします.....	26
カメラプリセットの使用.....	26
プリセットの保存.....	27
プリセットの選択.....	27
プリセットを削除する.....	27
第 6 章 : 設定.....	28
ビデオの調整.....	28
参加者レイアウトの変更.....	28
音声の調整.....	28
マイクのミュート.....	28
マイクのミュート解除.....	29
音量の調整.....	29
第 7 章 : トラブルシューティング.....	30
コンテンツヘルプのヒントを表示する.....	30
ブラックボードヘルプのヒントを表示する.....	30

はじめに

トピック：

- [対象者、目的、および必須のスキル](#)
- [関連する Poly およびパートナーのリソース](#)

本ガイドには、ビデオシステムでタスクを実行する際に使用できる概要情報、手順、および参照が含まれています。

本ガイドの情報は、特に記載のない限り、次の Poly ビデオシステムのすべてに適用されます。

- Poly G7500 (モデル:P011)
- Poly Studio X50 (モデル:P017)
- Poly Studio X30 (モデル:P018)

対象者、目的、および必須のスキル

本ガイドは、初めて本システムを使用されるユーザに加えて、システムで使用可能な機能の詳細を学ぼうとされる中級・上級のユーザも対象としています。

関連する Poly およびパートナーのリソース

この製品に関連する情報については、次のサイトをご参照ください。

- [Polycom サポートサイト](#)から、[\[Licensing & Product Registration \(ライセンスと製品登録\)\]](#)、[\[セルフサービス\]](#)、[\[アカウント管理\]](#)、[\[製品に関連する法的通知\]](#)、および [\[ドキュメントとソフトウェア\]](#) のダウンロードを含む、オンライン製品、サービス、およびソリューションのサポート情報にアクセスできます。
- [Polycom ドキュメントライブラリ](#)からは、現行の製品、サービス、およびソリューションのサポートドキュメントにアクセスできます。ドキュメントはレスポンシブ HTML5 形式で表示されるため、インストール、設定、または管理のコンテンツに任意のオンラインデバイスから簡単にアクセスして表示することができます。
- [Polycom コミュニティ](#)からは、最新の開発者とサポートの情報にアクセスできます。アカウントを作成すると、Poly サポート担当者にアクセスし、開発者およびサポートのフォーラムに参加することができます。ハードウェア、ソフトウェア、およびパートナーのソリューションのトピックスに関する最新情報を確認したり、アイデアを共有したり、仲間と協力して問題を解決することができます。
- [Polycom Partner Network](#) は、Poly 標準ベースの RealPresence プラットフォームを顧客の UC インフラストラクチャにネイティブに統合して、日々使用するアプリケーションやデバイスで対面でのコミュニケーション体験を再現しやすくすることを探求している業界リーダーです。
- [Polycom コラボレーションサービス](#)は、ビジネスの成功に役立ち、コラボレーションの利点を通じて投資の価値を最大限に活用することができます。

はじめに

トピック：

- [Poly ビデオシステムの製品概要](#)
- [LED ステータスインジケータ](#)
- [Poly G7500、Studio X50、および Studio X30 ハードウェアの概要](#)
- [システム内の移動](#)
- [システム電源のオン/オフ](#)
- [システムのスリープモードを解除する](#)
- [アクセシビリティ機能](#)

システムを使用する前に、その機能およびユーザインターフェイスを理解しておく必要があります。

Poly ビデオシステムの製品概要

Poly ビデオモードの Poly G7500、Studio X50、および Studio X30 システムは、Poly ビデオ会議機能やコンテンツ共有機能をサポートします。

Poly G7500 システムの機能

G7500 システムは、以下の機能をサポートします。

- 周辺機器カメラとマイクにより中規模なルーム向けにも大規模な統合ルーム向けにもシステムをスケール可能
- ビデオ通話の発信と参加
- カレンダーからのスケジュール済み会議の閲覧および参加
- 連絡先、通話リスト、および連絡先リストの管理
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 電子ブラックボードでのコラボレーション
- 自動的に発言者にズームインしたり、室内の人々のグループをフレーミングしたりできるカメラトラッキングの技術 (システムをどのように設定したかに応じて)
- 通話中、誰も話していない場合に、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- 定義された領域での音声のみを取得することで、人々が行き交う職場でのビデオ会議を可能にする Polycom Acoustic Fence の技術
- HDMI:シングル入力とデュアル出力
- シリアルポート接続

Poly Studio X50 の機能

Studio X50 システムは、以下の機能をサポートします。

- 集会室や小中規模のルーム向けのオールインワン コラボレーション システム

- ビデオ会議ソフトウェアを実行するために、別個の PC、ラップトップ、またはコーデックは不要
- ビデオ通話の発信と参加
- カレンダーからのスケジュール済み会議の閲覧および参加
- 連絡先、通話リスト、および連絡先リストの管理
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 電子ブラックボードでのコラボレーション
- 120 度の超広角視野を備えた内蔵 4K カメラ
- 自動的に室内の人々のグループをフレーミングするカメラトラッキングの技術
- 3.66 m (12 ft) 内の音声を拾い、実際のプレゼンスと明瞭さを再現する空間オーディオを使用した高忠実度内蔵ステレオマイク
- 通話中、誰も話していない場合に、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- デュアル ステレオ スピーカー
- HDMI:シングル入力とデュアル出力

Poly Studio X30 の機能

Studio X30 システムは、以下の機能をサポートします。

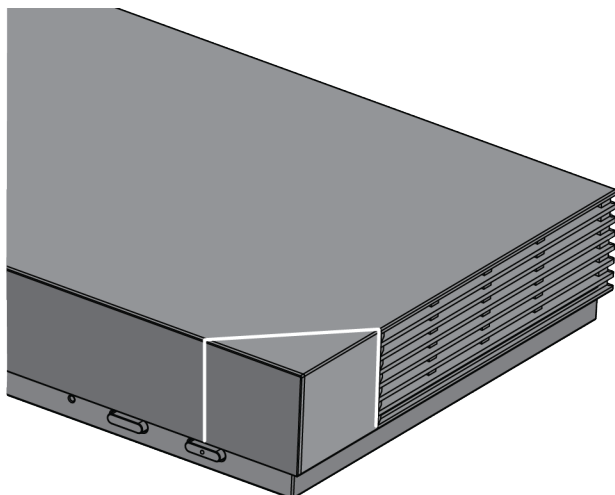
- 集会室や小中規模のルーム向けのオールインワン コラボレーション システム
- ビデオ会議ソフトウェアを実行するために、別個の PC、ラップトップ、またはコーデックは不要
- ビデオ通話の発信と参加
- カレンダーからのスケジュール済み会議の閲覧および参加
- 連絡先、通話リスト、および連絡先リストの管理
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 電子ブラックボードでのコラボレーション
- 120 度の超広角視野を備えた内蔵 4K カメラ
- 自動的に室内の人々のグループをフレーミングするカメラトラッキングの技術
- 3.66 m (12 ft) 内の音声を拾い、実際のプレゼンスと明瞭さを再現する空間オーディオを使用した高忠実度内蔵ステレオマイク
- 通話中、誰も話していない場合に、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- シングル モノラル スピーカー
- HDMI:シングル入力と出力

LED ステータスインジケータ

下図にシステムの LED を示します。下表に、各 LED インジケータとその関連ステータスを示します。

G7500 システムの LED ステータスインジケータ

コーデックの前面右隅にある LED を使用して、システムの状態に関する情報を得ることができます。



G7500 システムの LED ステータスインジケータ

インジケータ	ステータス
白色で点滅	電源がオン
白色で点灯	正常に動作中
オレンジ色で点滅	更新が進行中です
オレンジ色で点灯	スリープ中
赤色で点滅	正常な動作を妨げるエラー

Studio X50 および Studio X30 システムの LED ステータスインジケータ

システムのカメラの上に LED ライトバーがあり、システムの動作を確認することができます。

Basic Studio X50 および Studio X30 LED のステータスとインジケータ

インジケータ	位置	ステータス
白色の流れる点滅	すべてが交互に	ブートの初期化が進行中
青色で点滅	中央の 12 個	Bluetooth 検出
3 秒間青色で点灯	すべて	Bluetooth がペアリングされました
緑色で点滅	すべて	着信通話
緑色で点灯	中央の 2 つ	発信通話

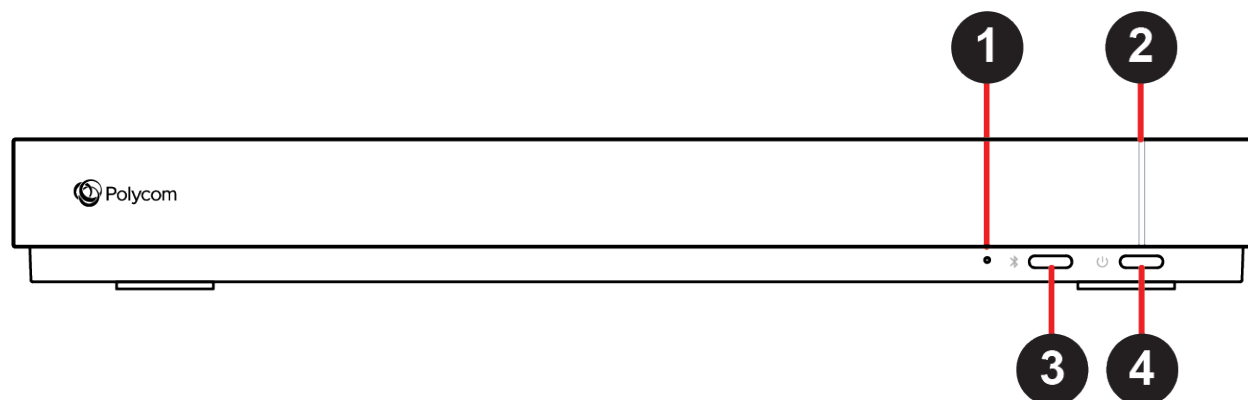
インジケータ	位置	ステータス
緑色または白色で点灯	4 つまたは 8 つ (中央の場合)、トラッキングされている発言者またはカメラの方向を示す	動作中 次のような場合に、サポートされているアプリケーションのライトは緑色です。 <ul style="list-style-type: none"> グループのフレーミングと発言者トラッキングモードで人物をトラッキングしている。 パン/チルト/ズーム (PTZ) モードでカスタマイズしたカメラの向きを示している。
赤色で点灯	中央の 12 個	保留
緑色で点灯	中央の 12 個	保留中の通話 (相手側)
3 秒間白色で点灯	中央の 12 個	プリセットを保存中
赤色で点灯	すべて	マイクのミュート
オレンジ色で点灯	すべて	ファームウェアアップデートを実行しています
赤色で点滅	すべて	正常な動作を妨げるエラー

Poly G7500、Studio X50、および Studio X30 ハードウェアの概要

以下の図と表で、システムで使用可能なハードウェア機能について説明します。

Poly G7500 のハードウェア

下図に Poly G7500 システムのハードウェア機能を示します。次の図で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。

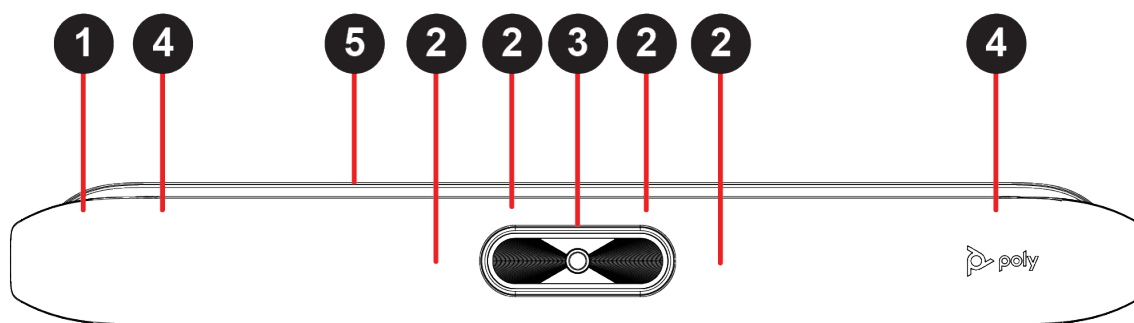


Poly G7500 機能の説明

リファレンス番号	機能	機能の説明
1	[リセット] ボタン	Poly G7500 を工場出荷時のソフトウェアバージョンにリセットします
2	LED インジケータ	システムのステータスを示します
3	リモコンの [ペアリング] ボタン	Bluetooth リモコンでペアリングモードを有効にします
4	[再起動] ボタン	システムを再起動します

Poly Studio X50 のハードウェア

下図に Poly Studio X50 システムのハードウェア機能を示します。次の図で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。

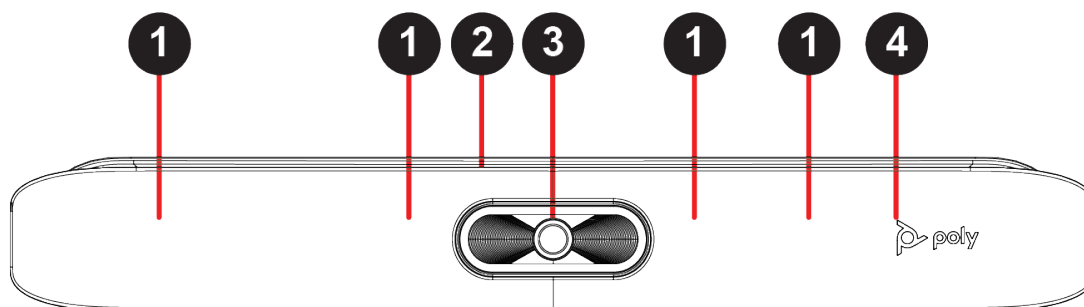


Poly Studio X50 機能の説明

リファレンス番号	機能	機能の説明
1	画面	システムの全面をカバーする保護スクリーン
2	マイク	音声を拾うマイク
3	カメラ	プライバシーカバー付きのカメラで、任意でビデオ入力を有効または無効にします
4	スピーカー	ステレオ音声出力
5	LED インジケータ	システムのステータスとトラッキングされている発言者の情報を示します

Poly Studio X30 のハードウェア

下図に Poly Studio X30 システムのハードウェア機能を示します。次の図で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。

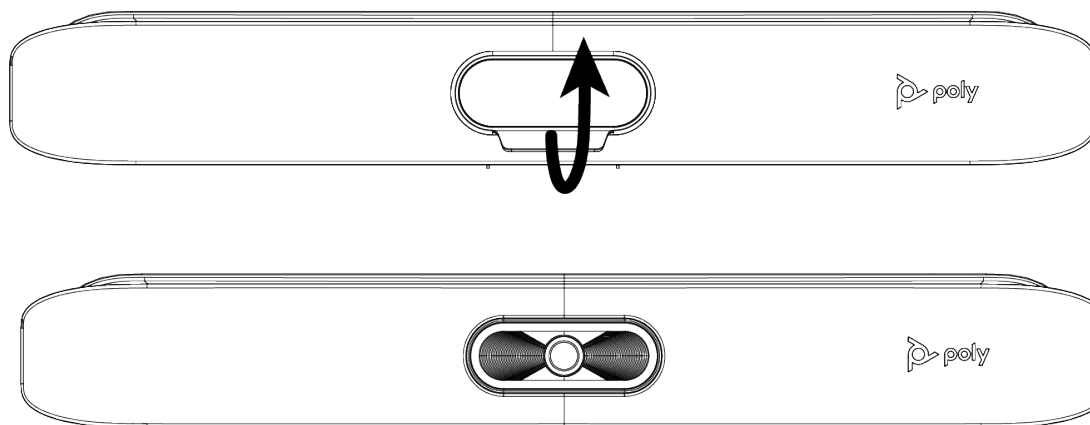


Poly Studio X30 機能の説明

リファレンス番号	機能	機能の説明
1	マイク	音声を拾うマイク
2	LED インジケータ	システムのステータスとトラッキングされている発言者の情報を示します
3	カメラ	プライバシーカバー付きのカメラで、任意でビデオ入力を有効または無効にします
4	スピーカー	モノラル音声出力

Poly Studio X50 と Studio X30 のプライバシーカバー

Poly Studio X50 および Studio X30 にはカメラレンズに装着できる物質的なカバーが付いており、プライバシーを保護することができます。



システム内の移動

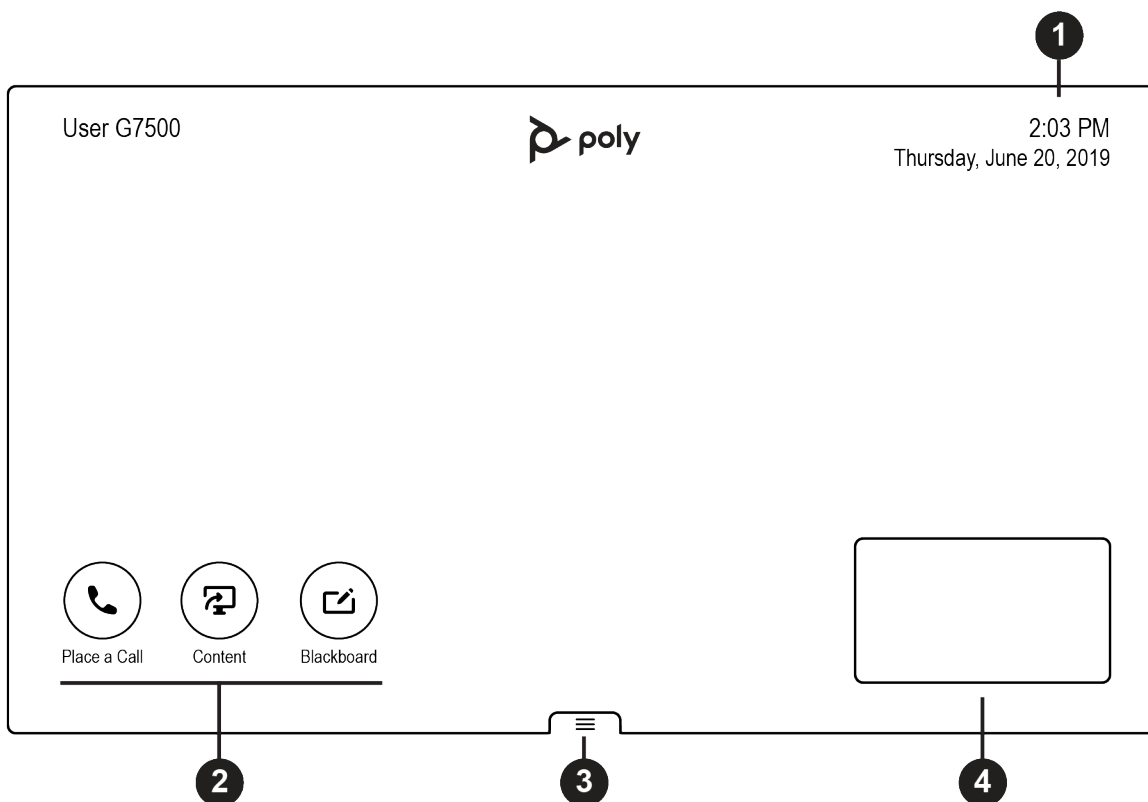
システムにあるアイコンおよびユーザ画面によって、システムに関する重要な情報にアクセスし、確認することができます。

ホーム画面

ホーム画面は、システムモニタで最初に表示される画面です。この画面から、多くのシステム機能にすばやくアクセスすることができます。

メモ：画面の一部の要素は、システム設定によって異なる場合があります。






ホーム画面



参照番号	説明
1	システム情報バー。日付/時刻やシステム名などの詳細が表示されます。
2	通話の発信、コンテンツの共有、またはブラックボードの作成を行うためのタスクボタン。
3	その他の機能にアクセスするためのメニュー。
4	ローカルカメラ表示。

ホーム画面の要素

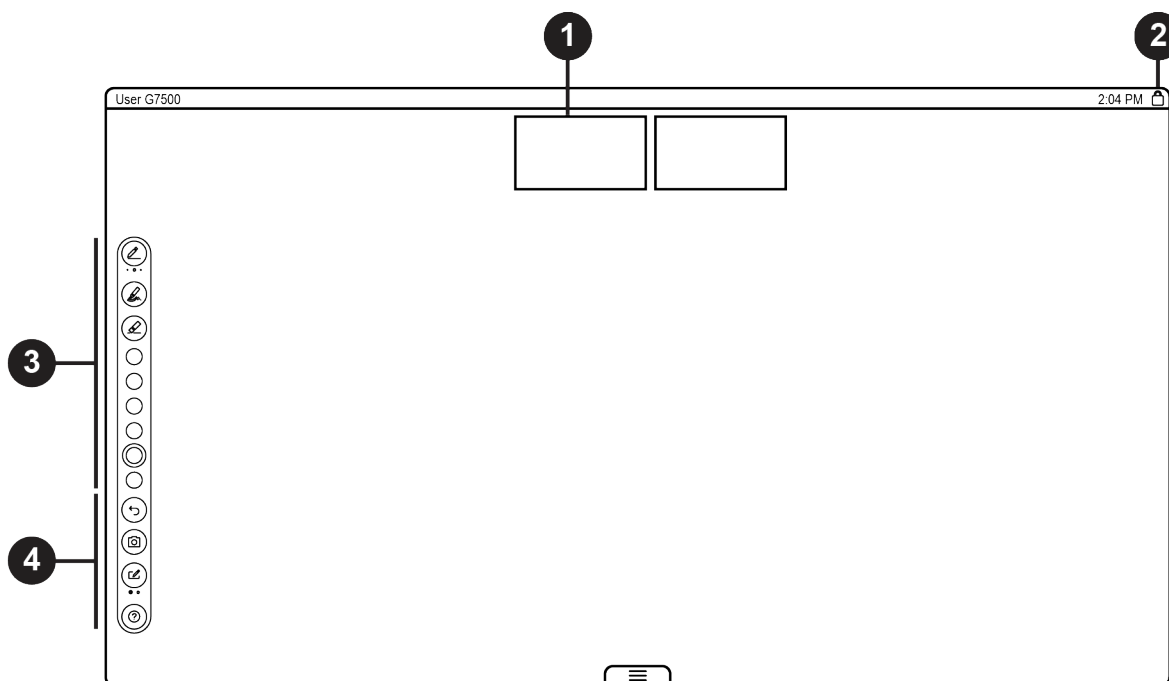
次の非アクティブで読み取り専用の要素の一部は、システム設定によっては表示されない場合があります。

要素	説明
名前	システム管理者によって指定された内容を示す名前。システムに接続するときに使用されます。
セキュリティコード	コンテンツ共有のための接続を試行すると表示されます。4桁のコードを使用すると、Polycom Content App、Airplay または Miracast の認定デバイスを使用したワイヤレス接続を設定することができます。
IP アドレス	システムに設定されている IP アドレス、SIP、H.323、セカンダリネットワーク。
現在の時刻	ローカルのタイムゾーン。
現在の日付	ローカルのタイムゾーンの日付。
警告 	システムにより完全に機能することを妨げる可能性がある 1 つまたは複数の問題が検出されたことを示す通知。
カレンダーまたはお気に入りカード	カレンダーまたはお気に入りを表示します。
通話の発信 	通話画面が開き、通話をダイヤルすることも、カードを選択して番号のダイヤル、お気に入りへのアクセス、カレンダーの表示を行うこともできます。
コンテンツ 	コンテンツを使用できる場合、使用可能なコンテンツのリストが表示されます。使用できない場合、この機能により、HDMI、Polycom Content App、Airplay または Miracast の認定デバイスを使用してコンテンツ共有をセットアップする方法を説明するヘルプ画面が開きます。
ブラックボード 	注釈や図を共有できるブラックボードを新規作成します。
メニュー 	通話、コンテンツの共有、カメラの制御やその他の機能のための新しいメニュー選択項目が開きます。

コンテンツ画面

コンテンツ画面では、会議でのコンテンツの共有やコンテンツへの注釈付けを行うことができます。

コンテンツ画面



番号	説明
1	通話参加者のカメラ表示。
2	システム情報バーに、システム名や時刻などのシステム情報が表示されます。
3	コンテンツツールバーのツールを使用すると、コンテンツへの注釈付けやコンテンツの操作を行うことができます。
4	コンテンツの管理機能。

システム電源のオン/オフ

システムはオンになります。システムには電源ボタンがないため、システムの電源をオフにするには、電源ケーブルのプラグを抜く必要があります。

メモ： メンテナンス作業中 (たとえば、ソフトウェアアップデートが進行中) は、システムの電源をオフにしないでください。

システムのスリープモードを解除する

操作しない状態が一定時間経過すると、システムはスリープモードになります (管理者によって設定されている場合)。タッチモニタ、Poly TC8、または Poly Bluetooth リモコンを使用して、システムのスリープモードを解除することができます。

手順

- » 次のいずれかを行います。
 - タッチモニタを使用している場合は、プライマリ画面をタップします。
 - TC8 を使用している場合は、画面をタップします。
 - リモコンの任意のボタンを押します。

アクセシビリティ機能

Polycom 製品は、聴覚障害者、視覚障害者、または認知障害者が利用できるように対応したさまざまな機能を搭載しています。

聴覚障害者向け機能

特定の機能は、聴覚に障害のあるユーザがシステムを使用できるように対応しています。

必要に応じて、次の機能を有効にするには、管理者に連絡してください。

聴覚障害者向け機能

アクセシビリティ機能	説明
ビジュアル通知	ステータスおよびアイコンのインジケータが、通話の着信、発信、アクティブ、保留中を通知します。また、インジケータは、デバイスのステータスや機能が有効になったタイミングも知らせます。
ステータスインジケータのランプ	システムとそのマイクでは LED を使用して、マイクのミュート状態などのステータスを示します。
調整可能な通話音量	通話中に、デバイスの音量を増減させることができます。

視覚障害者向け機能

特定の機能は、視覚に障害のあるユーザがシステムを使用できるように対応しています。

必要に応じて、次の機能を有効にするには、管理者に連絡してください。

視覚障害者向け機能

アクセシビリティ機能	説明
自動応答	電話機が通話に自動応答するように設定できます。
自動応答時ミュート	自動応答通話をミュートするように、システムを設定することができます。
着信音	着信通話時に呼出音が鳴ります。
参加トーンおよび退席トーン	会議通話への参加または退席があった場合に、トーン音を再生します。
エンボスボタン	リモコンには、番号のダイヤルなど、システムの一般的なタスクを実行するためのエンボス式プッシュボタンがあります。

身体障害者向け機能

特定の機能は、身体に障害のあるユーザがシステムを使用できるように対応しています。

必要に応じて、次の機能を有効にするには、管理者に連絡してください。

身体障害者向け機能

アクセシビリティ機能	説明
リモコン	Bluetooth リモコンを使用すると、システムのコントロールや、通話の発信、共有セッションの開始、一部の設定などのタスクを実行することができます。
Poly TC8	Poly TC8 を使用すると、システムのコントロールや、通話の発信などのタスクを実行することができます。
自動応答	電話機が通話に自動応答するように設定できます。
個人用デバイスからの通話の発信	管理者の認証情報がある場合、ユーザ独自のデバイスからシステムの Web インターフェイスにワイヤレスでアクセスして、通話の発信、および連絡先やお気に入りの管理を行うことができます。
タッチ対応モニタのサポート	システムにタッチ対応モニタが接続されている場合、選択、スワイプ、押すという操作で機能を実行したり、有効にしたりできます。を行うことができます。

通話の発信

トピック：

- [通話の発信](#)
- [連絡先への通話](#)
- [お気に入りの連絡先に通話を発信する](#)
- [カレンダーからミーティングへの参加](#)

システムで通話を発信するにはいくつかの方法があります。通話を発信するには、連絡先の名前または番号を入力する、ディレクトリに登録されている連絡先を選択する、お気に入りまたは最近の連絡先に発信する、またはスケジュールされている会議に参加します。

次の方法を使用して通話を発信することができます。

- ダイアルパッドを使用した通話の発信
- 連絡先への通話の発信
- 通話回数の多い番号への通話の発信
- 最近の連絡先への通話の発信
- お気に入りの連絡先への通話の発信
- カレンダーから会議に参加する

通話の発信

オンスクリーンキーボードを使用して音声通話、ビデオ通話、および会議通話を発信することができます。





通話の発信時には、次のダイアル形式を使用します。

- IPv4 アドレス:192.0.2.0
- ホスト名: room.company.com
- SIP アドレス: user@domain.com
- H.323 または SIP の内線番号:2555
- 電話番号:9782992285

通話の発信

連絡先に対して音声通話またはビデオ通話を発信することができます。

手順

1. [通話の発信] に移動します。
2. [ダイアルパッド]  画面で、[音声] 、または [ビデオ]  にスライダを移動させます。
3. ダイアルパッドで番号を入力するか、[キーボード]  を選択して文字を入力します。
4. [通話] を選択します。

通話への応答

システムが着信通話を処理する方法は、管理者がシステムをどのように設定したかによって異なります。システムでは、自動的に通話に応答するか、手動で応答するように指示するメッセージを表示するかのいずれかの処理が行われます。

手順

- » 着信通話の通知を受信した場合は、**[応答]** を選択します。

着信の無視

システムが着信通話に自動応答しない場合は、通話に応答する代わりに無視することができます。



手順

- » 着信通話の通知を受信した場合に、**[無視]** を選択します。

通話の終了

通話が完了したら、通話を終了します。ブラックボード、ホワイトボード、スナップショットなどのコンテンツがある場合、保存するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

手順


- » 通話中に、次のいずれかを行います。
 - リモコンの場合、**[通話終了]**  を押します。
 - 画面上の場合、**[メニュー]**  **>** **[通話終了]** の順に選択します。

会議通話の発信

会議通話を開始するには、通常通りに最初の通話を発信して、さらに連絡先を追加します。

メモ： システムが会議通話用にセットアップされているかどうかを確認するには、管理者に連絡してください。

手順

1. **[通話の発信]** に移動します。
2. 次のいずれかを行います。
 - ダイヤルパッドで番号を入力するか、**[キーボード]**  を選択して文字を入力します。
 - 連絡先を選択します。
 - お気に入りを選択します。
 - 最近の連絡先を選択します。
3. **[通話]** を選択します。
4. 通話が接続されたら、別の通話を発信します。
システムにより、すべてのサイトが同じ通話に接続されます。

連絡先への通話

システムでは、連絡先、最近の連絡先、通話回数の多い連絡先にアクセスして、通話することができます。

管理者によって設定されている場合、連絡先が **[通話の発信]** 画面に表示されます。連絡先カードには、以下の情報が表示されます。

- 連絡先名
- 連絡先電話番号
- 連絡先の電子メールアドレス
- 連絡先の IP アドレス

連絡先への通話の発信

連絡先にすばやくダイヤルするには、連絡先を検索し、検索結果から連絡先カードを選択することができます。連絡先カードには、通話回数の多い連絡先、ディレクトリの連絡先、およびお気に入りが表示されます。

手順

1. **[通話の発信]** > **[連絡先]** の順に移動します。
2. 検索フィールドで、オンスクリーンキーボードを使用して、文字または番号を入力し **[検索]** を選択します。
3. 連絡先カードを選択すると、連絡先の詳細が表示されます。
4. **[通話]** を選択します。

通話回数の多い連絡先に通話する

通話を発信するときに、システムは頻繁に使用される連絡先を学習し、それらをリストに表示します。

手順

1. **[通話の発信]** に移動します。
2. **[通話回数の多い連絡先]** リストから連絡先カードを選択します。
通話が自動的にダイヤルされます。

最近の連絡先への通話の発信

リストから最近の連絡先にすばやく通話を発信することができます (最も新しいものから順番に編成されています)。

手順

1. **[通話の発信]** > **[最近の通話]** に移動します。
2. 最近の連絡先の (日付別にソートされている) リスト全体をスクロールし、連絡先を選択します。
通話が自動的にダイヤルされます。

お気に入りの連絡先に通話を発信する

最も頻繁に通話する連絡先の短いリストにすばやくアクセスするには、お気に入りを作成します。

システムの設定に応じて、お気に入りは[お気に入り]、[連絡先]、またはホーム画面に表示されます。お気に入りを判別して通話しやすいように、連絡先の名前の横に星印アイコンが追加されます。

連絡先をお気に入りに登録する

最も頻繁に通話する連絡先を表示するお気に入りを作成します。

手順

1. [通話の発信] > [連絡先] の順に移動します。
2. 連絡先カードを選択し、[お気に入り] を選択します。
連絡先は、星印アイコンとともに [連絡先] および [お気に入り] リストに表示されます。

連絡先のお気に入りを解除する

[お気に入り] リストから連絡先を削除するには、連絡先のお気に入りを解除します。

手順

1. [発信] > [お気に入り] の順に移動します。
2. お気に入りカードを選択し、[お気に入りの解除] を選択します。
連絡先が [お気に入り] リストから削除されます。

お気に入りの連絡先への通話の発信

連絡先にすばやく通話を発信するには、お気に入りカードを選択します。

手順

1. [お気に入り]、[連絡先]、またはホーム画面で、お気に入りカードを選択します。
2. [通話] を選択します。

カレンダーからミーティングへの参加

ホーム画面上で、画面上の会議カード (設定されている場合) を使用すると、カレンダーから会議に直接参加することができます。

メモ: 管理者がシステムのカレンダーリングを設定していない場合、会議カードはシステムに表示されません。会議に参加するには、手動でダイヤルする必要があります。

会議カード

設定されている場合、会議カードはホーム画面に表示されます。会議カードにアクセスすると、会議の詳細を閲覧することができます。

会議カードには、次のスケジュール情報が表示されます。

- 終日の会議は会議カードの先頭に表示されます。
- その日の後にスケジュールされている会議の場合、スケジュールされた時刻と日付の順序で予定されている会議カードの前に「[時刻/日] まで予定なし」というメッセージが表示されます。
- その週の後にスケジュールされている会議の場合、次にスケジュールされている会議の日まで、「[時刻/日] まで予定なし」というメッセージが表示されます。
- 現在の週にスケジュールされている会議がない場合は、「会議はありません」というメッセージが表示されます。

会議カードを閲覧する

ホーム画面で、カレンダーイベントの詳細を示す会議カードを閲覧することができます。会議カードには、会議の時間、主題、および主催者が表示されます。

メモ: プライベートミーティングには、[プライベートミーティング] というラベルが付けられています。この場合は例外として、会議の詳細は非表示になっています。

手順

- » 次のいずれかを行います。
 - 会議情報を表示するには、会議カードを選択し、[情報] を選択します。
 - 予定されているスケジュール済みの会議を表示するには、カードを選択して右方向にスクロールします。

会議カードから会議に参加する

ホーム画面で、会議に参加するオプションとして会議カードを選択できます。

会議主催者が通話情報をカレンダーイベントに追加しており、管理者がカレンダーリングを設定している場合、システムでは自動ダイヤルがサポートされます。

手順

- » 次のいずれかを行います。
 - 現在の会議カードで、[参加] を選択します。
 - 会議カードに通話情報が含まれていない場合は、カード上の[詳細...]を選択して、ダイヤルパッドを表示します。番号をダイヤルして会議に参加します。

重複している会議に参加する

同じ時間に 2 つ以上の会議をスケジュールした場合、それらの会議は [オーバーブッキング] と表示されます。それぞれの会議カードを使用すると、いずれかの会議に参加することができます。

手順

1. 重複している会議カードを選択します、[情報] を選択します。
それぞれの会議カードが表示されます。
2. 会議カードのいずれかを選択し、[参加] を選択して会議に接続します。

パスワード保護された会議に参加する

会議によっては、参加するのにパスワードが要求される場合があります。

参加する前に、パスワード保護された会議のパスワードを把握していることを確認してください。会議のパスワードを把握していない場合にパスワードを求めるメッセージが表示された場合は、パスワードについて会議主催者に問い合わせてください。

メモ： 会議カードには、会議がパスワードで保護されているかどうかは表示されません。

手順

1. 次のいずれかを行います。
 - 会議に手動でダイヤルインします。
 - 会議カードから会議に参加します。
2. 会議のパスワードを入力し、**[参加]**を選択します。
誤ったパスワードを入力した場合は、パスワードを求めるプロンプトがもう一度表示されます。

コンテンツの共有

トピック：

- [コンピュータまたはデバイスからのコンテンツの共有](#)
- [ブラックボードまたはホワイトボードでのコンテンツの共有](#)
- [コンテンツセッションを終了する](#)
- [ブラックボードコンテンツまたはホワイトボードコンテンツを含む通話を終了する](#)

コラボレーション体験を向上させるため、ドキュメント、図、ビデオ、ブラックボード、ホワイトボードなどを他の参加者と共有することができます。

コンピュータや認定のデバイスを使用して、通話または会議のメンバー全員とコンテンツを共有することができます。

コンピュータまたはデバイスからのコンテンツの共有

コンピュータからコンテンツを共有することも、他のデバイスからコンテンツをストリーミングするアプリケーションを使用することもできます。

次の方法を使用して、コンテンツを共有することができます。

- システムにワイヤレスで接続する Polycom Content App
- Airplay または Miracast の認定デバイスでのスクリーンミラーリング
- HDMI を使用してシステムに直接接続されているコンピュータまたはデバイス

システムでは、通話外の場合は最大で 4 つのコンテンツソース、通話中の場合は 3 つのコンテンツソースを同時に使用できます (ソースには、こちら側のデバイスから、または相手側の参加者のデバイスから、共有されたコンテンツが含まれます)。

たとえば、3 つのコンテンツソースを含む通話中に、Content App を使用してデスクトップを共有した場合、セッションで最も古いワイヤレスのコンテンツソース、または相手側のコンテンツソースはそのデスクトップのコンテンツで置き換えられます。ただし、HDMI コンテンツは一切置き換えられません。

重要： 前に、プライバシーを保護するように注意を払ってください。たとえば、ミーティングの参加者と画面を共有する前に、デバイスの

Polycom Content App

Polycom Content App を使用すると、IP ネットワークを介してシステムに接続されているコンピュータのコンテンツを共有することができます。

このアプリケーションの使用方法の詳細については、『[Polycom Content App ユーザガイド](#)』をご参照ください。

Airplay または Miracast の認定デバイスからコンテンツをキャストする

Airplay または Miracast の認定デバイスからのコンテンツを共有して、システム上で表示させることができます。

手順

1. デバイスで Airplay または Miracast にアクセスします。
2. 使用可能なデバイスのリストから、ご使用のシステムの名前を選択します。
3. Airplay または Miracast の認定デバイスからのコンテンツを共有して、システム上で表示させることができます。

ご使用のデバイスのキャスト情報については、製品マニュアルをご参照ください。

4. プロンプトが表示されたら、ホーム画面に表示されているセキュリティコードを入力します。

HDMI 接続を使用したコンテンツの共有

HDMI 接続を使用して、デバイスからコンテンツを共有します。この方法では、ワイヤレスサービスを使用した接続が必要ありません。


手順

- » デバイスをビデオシステムの HDMI 入力ポートに接続します。

デバイスとの接続を切断するまで、HDMI コンテンツは表示され続けます。デバイスが接続されている間にビデオシステムを再起動した場合、HDMI コンテンツは再起動後も表示され続けます。

ブラックボードまたはホワイトボードでのコンテンツの共有

ブラックボードまたはホワイトボードは、書き込み可能な空白のキャンバスとして使用して、他の人とアイデアを共有してコラボレーションすることができます。

メモ: [ブラックボード]  ボタンは、マウスまたはタッチスクリーンがシステムに接続されている場合にのみ表示されます。


ブラックボードまたはホワイトボードの追加





ブラックボードやホワイトボードは、いつでも作成できます。

メモ: アクティブなボードに注釈が含まれていない場合は、新しいボードを追加することはできません。

使用できるブラックボードまたはホワイトボードの数は限られています。上限の数に達すると、プロンプトが表示されます。

手順

1. 次のいずれかを行います。
 - 通話中でない場合:ホーム画面で [ブラックボード]  を選択します。

- 通話中:[メニュー] ≡ > [コンテンツ] > [ブラックボード]  の順に選択します。
- 2. 別のボードを加えるには、以下のいずれかを行います。
 - ブラックボードを追加するには:ツールバーの [ブラックボード]  を選択します。
 - ホワイトボードを追加するには:ツールバーで、[ブラックボード]  を長押しして、[ホワイトボード]  を選択します。


メモ: デフォルトのボードタイプは、最後に選択したタイプになります。

コンテンツのスナップショットを撮影する

現在のコンテンツの写真を撮影することができます。撮影したら、Polycom Content App を使用して、スナップショットに注釈を付けたり、ダウンロードしたりすることができます。

使用できるスナップショットの数は限られています。スナップショット数の上限に達すると、プロンプトが表示されます。

手順

- » 画面上のボードまたはコンテンツの [スナップショット]  を選択します。

システムによりコンテンツが撮影されると、[スナップショット-1] と表示されます。それ以降のスナップショットにも連番で名前が付けられます。

スナップショットまたはコンテンツを削除する

必要なくなったスナップショットまたはコンテンツは削除することができます。

手順

1. コンテンツトレイ内でスナップショットまたはコンテンツの一部を選択します。
2. 赤色の [X] を選択します。
3. [削除] を選択します。

コンテンツセッションを終了する

コンテンツセッションを終了すると、表示が停止し、システムで共有されているすべてのコンテンツが削除されます。

手順

1. コンテンツセッション中に、[メニュー] ≡ > [セッションの終了] の順に選択します。
メッセージに警告とカウントダウンタイマーが表示されます。
2. [セッションの終了] を選択します。

メモ: コンテンツを保存するには、[セッションを続行] を選択します。

ブラックボードコンテンツまたはホワイトボードコンテンツを含む通話を終了する

通話中に開かれているブラックボードまたはホワイトボードがある場合 (図、マークアップ、スナップショットに加え、空白のボードの場合も含む)、通話終了後もコンテンツのセッションを継続することができます。(マークアップにハイライトは含まれません。)

手順

1. ブラックボードコンテンツまたはホワイトボードコンテンツを含む通話で、[メニュー] ≡ > [通話終了] へを選択します。

通話が終了し、コンテンツを保存するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

2. 次のいずれかを行います。
 - [はい、コンテンツを保存します] を選択します。
 - [いいえ、セッションを終了します] を選択します。

コンテンツを保存する場合、コンテンツセッションは継続されます。

3. コンテンツを停止する準備ができたなら、[メニュー] ≡ > [セッションの終了] > [セッションの終了] の順に選択します。

カメラ

トピック：

- [ローカルカメラを調整する](#)
- [相手側のカメラを調整する](#)
- [カメラをオンまたはオフにする](#)
- [カメラトラッキングをオンまたはオフにします](#)
- [カメラプリセットの使用](#)

カメラ制御は、通話中でも通話外でも使用できます。

カメラのタイプに応じて、以下の方法でカメラを制御できます。

- ローカルカメラを調整する
- 相手側のカメラを調整する
- カメラをオンまたはオフにする
- カメラトラッキングをオンまたはオフにする
- プリセットを選択、保存、または削除する




ローカルカメラを調整する

会議参加者の表示を向上させるため、ローカルカメラに調整を加えます。

カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラ制御は使用できません。カメラ制御にアクセスするには、トラッキングをオフにしてください。

Studio X50 および Studio X30 システムでは、ズームインが最大になった場合に、カメラをパンまたはチルトすることができます。

手順

1. [メニュー] > [カメラ]  の順に選択します。
2. [コントロール]  を選択します。
3. ズームインするには + を、ズームアウトするには - を押します。上下にチルト、または左右にパンするには、矢印を押します。
4. 制御画面を終了するには、[戻る]  を選択します。





相手側のカメラを調整する

通話中に他の会議参加者の表示を向上させるため、相手側のカメラを調整することができます。

カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラ制御は使用できません。カメラ制御にアクセスするには、トラッキングをオフにしてください。

メモ： この機能を設定する方法については、管理者にお問い合わせください。




手順

1. [メニュー]> [カメラ]  の順に選択します。
2. [コントロール]  を選択します。
3. [切替え]  を選択して [相手側] のカメラを選択します。
4. ズームインするには + を、ズームアウトするには - を押します。上下にチルト、または左右にパンするには、矢印を押します。
5. 制御画面を終了するには、[戻る]  を選択します。

カメラをオンまたはオフにする

カメラをオンにしてローカルビデオを表示することも、カメラをオフにしてローカルビデオを非表示にすることもできます。

手順




1. [メニュー]> [カメラ]  の順に選択します。
2. [カメラをオン]  または [カメラをオフ]  を選択します。

カメラトラッキングをオンまたはオフにします

カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラは室内の人々のグループまたは現在の発言者を自動的にフレーミングします (ご使用のカメラおよびシステムの設定方法に応じて)。

メモ: ローカルのマイクをミュートにした場合、システムでは発言者へのトラッキングが無効になります。

手順

1. [メニュー]> [カメラ]  の順に選択します。
2. [カメラトラッキング オン]  または [カメラトラッキングを解除]  を選択します。

カメラプリセットの使用

カメラがパン/チルト/ズームをサポートしている場合、カメラのプリセット位置は最大 10 ヶ所設定できます。カメラプリセットは、保存済みのカメラ位置で、これを使用すると、室内の事前定義済みの場所にカメラを即座に向けることができます。

こちら側のカメラプリセットは、通話中または非通話中に使用することができます。相手側のカメラプリセットは通話中のみ使用できます。有効にされている場合、これらを使用して相手側のカメラを操作することができます。


メモ: カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラ制御とプリセットは使用できません。これらの機能にアクセスするには、トラッキングをオフにしてください。

プリセットの保存

現在のカメラ位置を後で使用できるようにプリセットとして保存します。

保存されているプリセットを使用すると、通話中または非通話中にこちら側のカメラ位置を変更することができます。相手側カメラのプリセットは、通話中のみに使用できます。


手順

1. [メニュー] > [カメラ]  の順に選択します。
2. [プリセット] を選択します。
3. カメラを目的の位置に調整します。
4. 次のいずれかを行います。
 - 目的のプリセットのイメージを選択します。
 - 画面上の場合、イメージを長押しして、[選択] を選択します。
 - リモコンの場合、番号を押してプリセットを選択します。

プリセットの選択

以前に作成されたプリセットを使用すると、通話中にカメラを目的の位置へすばやく移動することができます。



手順

1. [メニュー] > [カメラ]  の順に選択します。
2. [プリセット] を選択します。
3. 次のいずれかを行います。
 - 目的のプリセットのイメージを選択します。
 - 画面上の場合、イメージを長押しして、[選択] を選択します。
 - リモコンの場合、番号を押してプリセットを選択します。

プリセットを削除する

必要なくなったカメラプリセットは削除することができます。

手順

1. [メニュー] > [カメラ]  の順に選択します。
2. [プリセット] を選択します。
3. 画面上で、削除するイメージを長押しします。
4. [削除]  を選択します。

設定

トピック：

- [ビデオの調整](#)
- [音声の調整](#)

通話前または通話中に、音量の調整ビデオレイアウトの変更などのオーディオ設定およびビデオ設定の調整を行うことができます。

ビデオの調整

ビデオと特定のユーザインターフェイスの設定は、管理することができます。

参加者レイアウトの変更

通話中、現在のレイアウトから会議により適した別のレイアウトに変更することができます。レイアウトのフレームには、こちら側と相手側があります。

1台のモニターでコンテンツを共有する場合、コンテンツはいずれかのフレーム内に表示されます。

手順

1. 通話中に、[メニュー] > [レイアウト] の順に移動します。
2. 次のレイアウトのいずれかを選択します。
 - 等しい:すべての参加者が同じサイズになります。
 - ギャラリー:参加者が画面の上部に表示され、発言者がメインフレームに表示されます。
 - フルスクリーン:アクティブな発言者がフルスクリーンで表示されます。

音声の調整



システムでは、いくつかのオーディオ設定を制御することができます。

マイクのミュート

発言者および会議参加者のじゃまにならないように、マイクをミュートにすることができます。

通話中であるかどうかにかかわらず、音声をミュートにすることができます。

手順



- » 次のいずれかを行います。
 - リモコンの場合、[ミュート]  を押します。
 - 画面上の場合、[メニュー] ≡ > [ミュート]  の順に選択します。

システムによりローカルのマイクがミュートにされたことを示す通知が表示されます。

マイクのミュート解除

音声ミュートになっている場合に、通話で発言する準備ができたら、マイクのミュートを解除します。

手順

- » 次のいずれかを行います。
 - リモコンの場合、[ミュート]  を押します。
 - 画面上の場合、[メニュー] ≡ > [ミュート解除]  の順に選択します。

音量の調整

音量は通話前にも通話中にも調節することができます。

手順

1. [メニュー] ≡ > [音量] の順に移動します。
2. 次のいずれかを行います。
 - タッチスクリーンの音量スライダを使用します。
 - リモコンの + または - ボタンを押します。
 - リモコンの左右のナビゲーションボタンを押します (システムに音量コントロールが表示されている場合)。

トラブルシューティング

トピック：

- [コンテンツヘルプのヒントを表示する](#)
- [ブラックボードヘルプのヒントを表示する](#)



本セクションでは、システムの問題のトラブルシューティングに関連する情報について説明します。リモコンのペアリング、モニタの設定、ヘルプのヒントの場所に関する情報も記載されています。

コンテンツヘルプのヒントを表示する

コンテンツヘルプのヒントでは、HDMI、Polycom Content App、Airplay または Miracast の認定デバイスを使用して、コンテンツをストリーミングする方法に関する情報を提供しています。

メモ： 共有するコンテンツのソースにすでに接続している場合、ヘルプのヒントは表示されません。




手順

1. ホーム画面で [コンテンツ]  を選択します。
ヘルプ画面が開きます。
2. ソースタイプに関するヒントを確認します。
3. 前の画面に戻るには、[戻る]  を選択します。

ブラックボードヘルプのヒントを表示する

ブラックボードまたはホワイトボードに注釈が付けられているヘルプでは、注釈アイコンまたはタッチジェスチャーの使用法に関する情報にアクセスできます。

手順

1. ホーム画面で [ブラックボード]  を選択します。
2. ツールバーの [ヘルプ]  を選択します。
ヘルプ画面が開きます。
3. 画面を閉じるには、画面をタップするか、リモコンの [戻る]  を押します。